

北陸の眼科医をつなぐ情報マガジン

FREE
PAPER

EYELINK

2024 Vol. 25



謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます

令和6年能登半島地震で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます

特別対談

白根雅子先生に聞く

公益社団法人
日本眼科医会会長

金沢大学医薬保健学域
医学系眼科学 教授

富山大学医学薬学研究部
眼科学講座 教授

白根 雅子 × 杉山 和久 × 林 篤志

これからの眼科医療について

公益社団法人日本眼科医会会長 白根雅子先生に聞く

日時：10/6(金) 12:00～
場所：東京国際フォーラム
ガラス棟 4F G410



史上初、女性眼科医会会長就任とその決意

林 ●今日は大変お忙しい中、ご参加頂きありがとうございます。白根先生は、眼科医会会長になられて3期目で、我々は日本眼科医会が変わったというイメージを持っていました。会長になるのは大変なことだと思いますが、先生自身が決断されたことや、就任後どのようなことに取り組もうと思っただけでなかったのかを、ぜひ伺いできればと思っております。

白根 ●お招き頂きありがとうございます。日本眼科医会との縁は、広島県眼科医会の役員時代に、当時の会長でいらした高野先生から「日眼医の理事にどうか」と声を掛けていただいたことが始まりでした。広島から東京まで片道4～5時間かかりますから、東京に本部がある組織の役員を務めるのは無理だと思ったのですが、「その無理なところを何とか工夫してやってみてはどうか。女性活躍の時代でもあるし、ロールモデルというか、そういうものを示してもらおうのも一つの仕事だよ」と言われ、役に立てることがあるなら、と思ってお受けしました。

その後、常任理事はどうかと言われ、さらにハードルが上がったのですが、「理事も務まっているのだから何とかやるよ」と励まされ、総務担当の常任理事を4年務めました。終わりに近づいた頃に、高野先生から「僕はもう辞めるから、次のことを考えてください」と言われました。何人かの先生方と相談し、地方から女性を会長を務めることが、ダイバーシティの実現に向けたメッセージの発信になるかもしれないと思いい決しました。

自らの経験から、ダイバーシティ推進を目指す

白根 ●日眼医の会長として目指したことは幾つかあります。私は、広島大学で学びましたが、当時女性は1割ぐらいと少なく、ロールモデルはあまりない時代でした。男性の先生たちは、医局での研修後、外病院に出たのち大学に戻って研究し、その後臨床のスキルを磨くというのが通

常のルートでした。私もそうなると思っていましたが、「女性は大変だから研究はしなくていいよ」と言われました。当時、研究は診療が終わって、夕方以降に行う慣習だったので、そんなに無理をしなくていいということだったのです。その時は「そうかな」と思いましたが、勤務先の病院の院長から「女性も研究して学位を取る時代が来るから、是非研究をなささい」と言われたのです。7年間ほど病院勤務をした後、開業しました。院長の言葉はずっと心に残っており、悔いが残らないようにと思いい、40代で社会人枠大学院に入り学位をいただきました。今の若い女性医師たちには、大変な日々においても、今出来ることを一生懸命頑張っていれば次につながるということを、お伝えしたいと思います。卒業して2年後、カナダに2年間留学しましたが、その時、世界は価値観がとても多様で、日本とは別世界だと気付きました。その頃から、ダイバーシティを意識していました。当時は男女共同参画として女性を応援するムードはありましたが、女性をサポートするために、周りの人たちに色々な負担がかかっており、持続性に課題がありました。全員がお互いをリスペクトし支え合う環境が、どの組織や大学、病院にも必要だと考え、ダイバーシティを推進しようとして、旗印を掲げました。

今は、日本眼科学会でもダイバーシティ推進委員会を立ち上げておられます。アカデミアで女性が活躍できる環境を醸成することを目標にされていると聞いています。アカデミアの活動ができる医師としての自信につながるので、本当に大切なことだと思っっています。

杉山 ●先生が非常に優しい感じで、上に立ってやって

「眼科」の広報活動を強化する

林 ●ダイバーシティ以外には、どのようなことをお考えになつておられたのでしょうか。

白根 ●先生方が研究に熱心に取り組み、若い立派な人たちを育て、学会は隆盛してとても眩しいと感じていました。ある時、眼科の活動成果は外から見えないと思つたのです。日本医師会の会議にも出ることでありますが、眼科の存在感はとて小さいと感じていました。

林 ●そうですね。

白根 ●そのため、私が会長を拝命したとき「広報に力を入れたい」と宣言し、取組みを始めました。日本眼科記者懇談会を年に何回か開催し、メディアを集めて眼科の情報を発信し、積極的にプレスリリースし、取材が入ったら必ず対応するなど、執行部を挙げて地道にやってきました。

最初は、目に見える成果につながりませんでした。3年目に、ACジャパンにアプライするチャンスに巡り合いました。ACジャパンに採用されると全国の主要な広告媒体で披露されますので、緑内障をまずはやって

みようということになり、緑内障学会の先生方にご指導を仰いで年間広報を行いました。今年度は眼底検査の広報が進行しています。





林 ●今、「天才バカボン」を使用していますね。
杉山 ●日本眼科記者懇談会は、眼科医会と眼科啓発会議、日眼にてしていますが、記者が非常に積極的で素晴らしいことです。眼科の存在感をアピールするには非常に良いし、眼科が何をしているのか、どんな病気を扱っているのかを国民に知ってもらうのに良い企画で僕も毎回参加しております。

白根 ●そうですね。この前も沢山の方に集まっていたきました。
杉山 ●緑内障は、失明原因の第1位であり、一般の国民の人に分かっていただくというのは非常に大事です。その発見には、眼底検査が一番大事であり、また糖尿病網膜症や加齢黄斑変性という他の病気も見つかると思います。

林 ●日本の眼科医の組織には、日本眼科学会と日本眼科医会があり、日本眼科学会の方は、アカデミックな部分でしっかりと日本の眼科を発展させていく責任があると思います。日本眼科医会の方は、社会に対して説明する責任を果たしていく役割が、あると思っています。

女性医師へのメッセージ

林 ●最初のダイバーシティとも関連しますが、女性医師比率は眼科では本来4割くらいおり、比較的多い方だと思います。その女性医師に今後どのように働いてほしいとお考えでしょうか？また、杉山先生も僕も大学ですので、医局としてこうしてほしいというメッセージも頂けたらと思います。

ます。まずは女性医師に対してのメッセージにはどういうものがございませうか。

白根 ●私の経験からしますと、子育てがない時期には負担はあまり大きくないと思いますが、働きながらの子育ては、時間との競争で、本当に刻みの戦いです。睡眠不足になると患者さんの為にならないので、睡眠もきちんと取りつつ研究も臨床もやろうとすると物理的な限界に達します。

限界にチャレンジするという選択もありますが、いつかはゴムが伸びきって切れてしまいますので、一定期間は、仕事量を減らしてでも継続するということですが、すごく大事だと思います。

例えば8時間でやるより5時間で集中して仕事をした方が実は効率がいいこともあると思うので、とにかく仕事を続けてほしいです。

そして、できればどこかで研究をする時期を設ける。やはり研究をするということは、統計を取るとか、データを解析する技術を学び、思考力を身に付けることでもありますので、臨床面においても力をつける基礎となります。できれば若いうちに研究を経験していただきたいと思います。

林 ●「研究も」というお言葉は、われわれにとっではすごく心強いです。

今の若い先生たちは、研究よりも臨床の方に興味が向かがちです。それは臨床では、われわれが研修医の時よりも勉強することがたくさんあって、それで手一杯になることは理解できます。けれども、研究をしようと思っていない人も一定割合いるのです。

眼科医として、臨床医をやっていく上でも、研究が必要であるとおっしゃっていたいただいたのは、すごく大事なかなと思います。

白根 ●私、本当にそう思います。例えば手術をたくさんやって腕が上がったとしても、それを自他共に納得するには、ちゃんとしたデータをとって、学会の評価に耐えうる成果を出さないとけません。それができるのは、やはり研究をした経験であると思います。臨床のスキルを磨く上でも非常に重要であると思います。

杉山 ●女性医師が子育てをしながら働くというのは本当に大変だと思います。例えば、9時から3時までの5時間ぐらい働いたり、週3日や4日の勤務もあったり、ある程度ワークシェアリングをしてもよいと思います。先生がおっしゃるように、仕事を継続するというのは大事ですね。長期に休んでしまうと戻りにくいということもあります。

大学との連携、もつと開業医との関わりと活用を

林 ●大学の医局は、新しく眼科医になる人が入ってきて、その人たちを一人前に育てる役割があるのですけれども、大学の医局に対しての要望を、ぜひ教えてください。女性医師が働き続ける環境をつくるというのはわれわれの仕事と、もちろん思っていますけれども。

白根 ●男女にかかわらず、アカデミックな思考ができる人材をぜひ育てていただきたいと思っています。

あと、地域差があるかもしれませんが、開業医をもつと活用してもいいのではないかと思います。大学の外来業務は結構負担です。ですから、緑内障のフォローアップにしても、眼圧は、月1回、開業医で測定してもらって、大学は半年、一年に1回でいいよとか。そのようにして、大学ならではの役割に力を注げる時間を確保していただきたいと思います。

硝子体注射も病院外来の負担であるとしてよく聞きます。私は、硝子体注射を始めるに当たり、安心のために、大学の先生にクリニックに来ていただき、注射をする環境を実際に見て問題ないことを確認していただいて、始めました。ささやかですが、病診連携の役割を分担できているかなと思っています。

杉山 ●大事な点だと思います。眼科も開業する先生が圧倒的に多いですから。白内障や硝子体手術ができるようになると開業していくという傾向があります。それは人生の選択なので止められないのですが、開業してからアカデミアなことを続けることは大事だと思います。

白根 ●日本眼科医会ではダイバーシティの全国会議が年に一度あるのですが、最近働き方改革をテーマにしています。会議では「開業医の先生方、大学のお手伝いをしましょう」というメッセージを発信するようにしています。大学の先生方も参加してください、いろいろな問題を教えてください。一緒に考えていこうと思っています。

林 ●先生の働き方改革へのメッセージもすごく重要になると思いますので、ぜひよろしく願いいたします。
白根 ●各地、各病院の好事例やお知恵を頂きましたら、



地域医療最前線

Regional Medical Frontier

地域医療の最前線で活躍されている眼科医師に現在の診察状況についてお聞きしました。

高山赤十字病院
岐阜県高山市天満町3丁目11
TEL: 0577-32-1111



【スタッフの紹介】
現在は常勤医師1名、視能訓練士2名、外来看護師3名、医療事務1名で眼科外来を運営しています。診療実績・治療実績外来患者数は1日平均約30名程度です。2023年6月までは富山大学からの派遣医師による執刀をお願いしていました。7月に常勤医が変更になりました。手術日は月曜・水曜で行なっています。2023年7月から10月の4ヶ月間の実績は、白内障手術112件、硝子体手術（水晶体再建術を含む）59件、緑内障手術（濾過手術）5件、その他4件、合計180件施行しています。

【アピールポイント】
当院は飛騨地域の急性期・高度医療を担う病院です。山々に囲まれた場所であり、周辺の大学病院へのアクセスが悪いので、できるだけ当院で医療を完結できる体制を整えています。7月より、裂孔原性網膜剥離や緑内障手術に対応できるようにしました。日帰りの白内障、硝子体手術も導入しており、できるだけ患者のニーズに応え、手術件数を伸ばしています。常勤医は1名で少ないですが、まだまだ余裕があるので、更に地域医療に貢献していきます。

厚生連高岡病院
富山県高岡市永楽町5-10
TEL: 0766-21-3930



【スタッフの紹介】
令和5年度より、常勤医3名（阪口、満保、和田）、視能訓練士2名、看護師2名、医療事務1〜2名で運営しております。迂闊に風邪もひけないギリギリの人員で、増員をたびたび病院に交渉しています。

【診療実績・治療実績】
2022年は手術1081件、外来のべ12586人、入院875人でした。2023年は満保医師が育休明けで時短復帰し3人体制となつたこともあり、昨年以上の実績で推移しています。

【アピールポイント】
当院は富山県西部（奥西地区）の高岡市にあります。病床数は約500床で、三次救急を担う各科の中核病院として位置づけられています。当科では、白内障、緑内障（流出路再建術、濾過手術、チューブシャント手術、iStentなど）、網膜硝子体、眼瞼など各種疾患の手術に対応できる体制になっています。手術は白内障を含め、原則入院での治療となります。斜視、涙道手術は行っておりませんので、他施設へのご紹介となります。メイカルレチナ領域では、従来からのケナコルトやマキュエイドに加え、抗VEGF薬のルセンテイス、アイリア、ベオビュ、バビースモが採用されており、症例の特徴によって使い分けるようにしています。地域の眼科診療に安定して役立つ仕組みを維持発展するべく、励んで参ります。



新しいコンセプトの
単焦点 IOL

TECNIS Eyhance® IOL
with TECNIS SIMPLICITY® Delivery System
OptiBlue®

販売名：テクニス アイハンス VB Simplicity
医療機器承認番号：30300BZX00084000



エイエムオー・ジャパン 株式会社
東京都千代田区西神田3丁目5番2号
© AMO Japan K.K. 2023

Johnson & Johnson VISION

PP2021CT4616
M891ADIB0-22Q10002



目の医療のために、 できること

北陸圏を中心に最新の医療機器及び医療用医薬品、そして眼科医療の為に専門的なサービス「眼科修理メンテナンス」「眼科開業支援サービス」「製品開発事業」「眼科メディア支援事業（ホームページ制作）」を提供しております。

SANWA MEDICAL

三和メディカル株式会社 <http://www.sanwamedical.co.jp>
〒920-0935 石川県金沢市石引4丁目4番6号
TEL: 076-222-1655 (代) FAX: 076-222-1668 E-mail: post@sanwamedical.co.jp

診療・治療のコツとテクニック

円錐角膜の進行は pBFS でチェック

円錐角膜の唯一の進行予防法は角膜クロスリンキング (CXL) です。進行して角膜最菲薄部が 400 μ m より薄くなってしまえば、CXL はできません。そこで、進行の見極めが非常に重要になってきます。これまでは、

- ①角膜形状解析検査で強主経線上角膜屈折力が 1.0D 以上増加
- ②自覚視力検査で、等価球度数が 1.0D 以上増加
- ③自覚視力検査で、乱視度数が 1.0D 以上増加
- ④ハードコンタクトレンズのベースカーブが 0.1mm 以上減少

といった基準をもとに進行判定が行われてきました。しかし、円錐角膜患者は検査直前までハードコンタクトレンズをつけていることが多く、外した 1~2 時間後の角膜前面形状は安定しておらず、①での判断は困難です。また、実臨床において円錐角膜患者の自覚検査値はかなりのブレが生じるため、②~④での判断も難しいという問題点がありました。そこで CASIA2 (TOMEY 社) を用いた角膜後面評価です。pBFS 値はコンタクトレンズ装着の影響をほぼ受けないので、我々はこの値を用いて進行をチェックしています。0.03mm/year より減少量が大きい場合は進行中と判断し、CXL を積極的に考えていきます。



富山大学眼科
宮腰 晃央



図1 赤矢頭の時期に CXL を施行。pBFS の減少が停止しているのがわかる。

診療・治療のコツとテクニック

イノベーション! マイループ

難症例の白内障手術時に、核分割システム miLOOP (以下、マイループ、カールツァイスメディテック社) がおすすめです。角膜混濁眼の褐色白内障 (図1) など、チャレンジングな超音波白内障手術の際にマイループを活用します。CCC とハイドロダイセクションを実施した後、カウボーイの投げ縄のように、マイループのワイヤを水晶体にひっかけ、投げ縄で首を絞めるようにして水晶体を切断します。非常に硬い後部プレートのある水晶体を、完全に 2 分割または 4 分割できるため、手術の難易度が低下し、安全性が向上します。また、手術中の超音波エネルギーの利用を最小限に抑えるのにも貢献します。

ワイヤで水晶体を絞める際に、左手のフックで抑えても水晶体が傾くことがありますが、これについては心配しなくても大丈夫です。2023 年 9 月時点で、核硬度 4 または 5 の 15 症例でマイループを使用したところ、チン小帯断裂や後囊破損の経験はありません。



金沢大学眼科
横川 英明

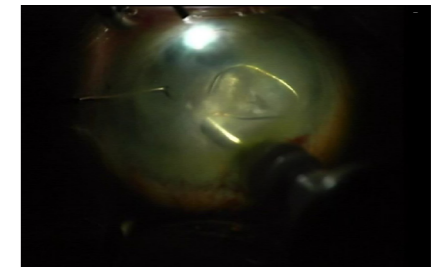


図1 術中所見
右手のマイループのワイヤを水晶体にひっかけている途中です。角膜混濁で前房の視認性が悪いので、助手のライトパイプで視認性を高めながら行っています。

24時間・365日。 見守り、そして駆けつけます。

特別キャンペーン開催中!

I'm ALSOK!

ALSOKは、とことん、あなたのために。

ALways Security OK

ALSOK

北陸総合警備保障株式会社

代表取締役社長 森本 昇

本社 石川県金沢市松島1丁目41番地
TEL.076-269-8686

富山支社 富山県富山市間屋町2丁目8番地28号 TEL.076-452-2800
高岡支社 富山県高岡市あわら町1番地1号 TEL.0766-21-2112
福井支社 福井県福井市成和1丁目1504番地 TEL.0776-23-1306

選択肢をつくる。 希望をつくる。

田辺三菱製薬

<https://www.mt-pharma.co.jp/>

M.E. Technica

最新のテクノロジーと熟練のクラフトマンシップが
ドクターの要求にお応えします。

株式会社 エムイーテクニカ 本社 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-34-4 TEL: 03-5395-4588
営業所: 札幌/仙台/名古屋/大阪/福岡 <http://www.metecnica.co.jp/>

Trust & Safety

~信頼と安全の思いを込めて~

テイカ製薬株式会社

Teika Pharmaceutical Co., Ltd.
〒930-0982 富山県富山市荒川1-3-27
TEL.076-431-1717 FAX.076-431-6707
<http://www.teika.co.jp/>
【資料請求先 テイカ製薬株式会社 医薬営業部】

AD-XXX-025-A-2311

“見える”の向こうにあるものを。

SENJU

千寿製薬株式会社 〒541-0048 大阪市中央区瓦町三丁目1番9号 TEL. 06-6201-2512(代表) URL. <http://www.senju.co.jp> 2018年6月作成

新発売

日本標準商品分類番号 871319
 眼科用VEGF^{®1)}/Ang-2^{®2)}阻害剤
 抗VEGF/抗Ang-2ヒト化二重特異性モノクローナル抗体
 生物由来製品、創薬、処方箋医薬品^{®3)} 【薬価基準収載】

バビースモ[®] 硝子体内注射液120mg/mL
VABYSMO[®] solution for Intravitreal Injection
 ファリシマブ (遺伝子組換え) 硝子体内注射液 注1) VEGF: Vascular Endothelial Growth Factor
 注2) Ang-2: Angiopoietin-2
 注3) 注意-添付等の処方箋により使用すること
 © F. Hoffmann-Laurie (Suisse) S.A. 登録商標

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については、電子化された添付文書を参照ください。

製造販売元 **中外製薬株式会社** 【文庫請求先及び問い合わせ先】 メディカルインフォメーション部 (販売情報提供活動に関する問い合わせ先)
 〒105-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1 TEL.0120-189-706 FAX.0120-189-705 https://www.chugai-pharm.co.jp/guideline/

2023年4月作成

KAI MEDICAL

匠創 SHOSHO

DISPOSABLE
MICROSURGERY KNIFE

SL24
 スリットナイフ

日本力。 私たちが生産の拠点を置く岐阜県関市は、刀剣の産地として800年の歴史があります。「折れず曲がらずよく切れる」という日本刀の神髄は、日本が誇る鍛造の技術によって、繊細かつ強靱な切れ味となって KAI 鍛造眼科メスにもしっかりと受け継がれています。「匠創」は技術力と創造力を表す漢字を使った新ブランド名で、赤い落款をイメージしたロゴには KAI のクオリティと誇りが込められています。

販売名: マイクロサージェリーナイフ
 医療機器認証番号: 219ABBZX00200000
 仕様は変更することがあります

製造販売元 **カイインダストリーズ株式会社**
 医療器事業本部 国内営業部

〒501-3992 岐阜県関市小原名1110
 Phone (0575) 28-6600 Fax (0575) 28-6611
 https://www.kaimedical.jp/

◀WEBサイトはこちら

MANI[®]

The Ultimate in Sharpness
究極の切味

〒321-3231 栃木県宇都宮市清原工業団地 8-3
 お問い合わせ先 TEL 028-667-9911 FAX 028-667-6177
 E-mail: seg-dms@ms.mani.co.jp
 8-3 KIYOHARA INDUSTRIAL PARK, UTSUNOMIYA, TOCHIGI, 321-3231, JAPAN
 Phone: +81286677565 Fax: +81286676177

MANI[®]
MANI, INC. マニー株式会社

DORC
 オランダ ドルク社

EVA NEXUS
 眼科手術システム

VacuFlow VTi

VacuFlow VTi (Valve Timing intelligence) は、ピストンを利用した流体制御システムであり、Vacuumモード/Flowモードを設定することが可能です

BSSの残量通知を2段階のアラートで行い術中の安全性を確保

SMART IOP™でより安定した前房圧を維持

アールイーメディカル株式会社
R E MEDICAL, INC.
 www.re-medical.co.jp

日程	会名	場所	時間	演者
2024年 3月2日(土)	第29回 北陸眼疾患シンポジウム	ANAクラウンプラザ ホテル金沢	17:00～19:10	池田 陽子 先生(御池眼科池田クリニック) 生野 恭司 先生(いくの眼科) 山上 聡 先生(日本大学) 福地 健郎 先生(新潟大学)
2024年 4月7日(日)	第352回金沢眼科集談会	ホテル日航金沢	10:00～13:00	林 篤志 先生(富山大学) 稲谷 大 先生(福井大学) 佐々木 洋 先生(金沢医科大学)
2024年 6/28(金)～ 6/30(日)	第39回 JSCRS 学術総会	福岡国際会議場・福岡 サンパレス		学会長：佐々木 洋 先生(金沢医科大学)
2024年 10月6日(日)	第9回北陸斜視・小児眼科の会	ホテル日航金沢	11:00～13:00	未定
2024年 11月10日(日)	第44回金沢医科大学眼科研究会	金沢アートホール	未定	未定

日程	会名	場所	時間	演者
2024年 3月9日(土)	第119回富山大学眼科臨床カンファ レンス	富山県民会館 (611号室)	18:30～20:30	高橋 秀徳 先生(自治医科大学) 國吉 一樹 先生(近畿大学)
2024年 3月16日(土)	第62回とやま眼科学術講演会	ホテルグランテラス富 山	18:30～20:30	小幡 博人 先生(埼玉医科大学総合医療センター) 北岡 隆 先生(長崎大学)
2024年 4月13日(土)	第63回とやま眼科学術講演会	ホテルグランテラス富 山	18:30～20:30	橋田徳康先生(大阪大学) 長岡泰司先生(旭川医科大学)
2024年 6月15日(土)	第64回とやま眼科学術講演会	オークスカナルパーク ホテル富山	18:30～20:30	古泉 英貴 先生(琉球大学) 小泉 範子 先生(同志社大学)
2024年 6月16日(日)	第89回富山眼科集談会	富山県民会館 (401号室)	13:00～16:30	未定
2024年 9月14日(土)	第120回富山大学眼科臨床カンファ レンス	富山県民会館 (611号室)	18:30～20:30	未定
2024年 10月5日(土)	第65回とやま眼科学術講演会	ホテルグランテラス富 山	18:30～20:30	未定
2024年 11月23日(土)	第90回富山眼科集談会	富山県民会館 (304号室)	13:15～16:20	未定

日程	会名	場所	時間	演者
2024年 5月18日(土)	福井県眼科学術講演会	福井フェニックスホテ ル	18:30～	中野 匡 先生(慈恵大学) 坂口 裕和 先生(岐阜大学)
2024年 9月7日(土)	福井県眼科集談会	福井県商工会議所	18:00～	松村 沙衣子 先生(東邦大学大森病院)
2024年 10月26日(土)	北陸オブサルミックフォーラム	福井県商工会議所	18:30～	大鹿 哲郎 先生(筑波大学) 岡本 史樹 先生(日本医科大学) 石川 均 先生(北里大学) 羽入田 明子 先生(北慶應大学)
2024年 11月30日(土)	福井県年忘れ眼科勉強会	福井フェニックスホテ ル	18:30～	未定
2025年 1月11日(土)	福井県眼科集談会	福井県商工会議所	18:00～	未定



マルチファンクション・レフラクトメーター

MR-6000

まさにマルチレフ。
レフ・ケラト・トノ・パキ・トポに
ドライアイも。

より詳細な製品情報はウェブサイトをご利用ください
<https://ophth.tomey.co.jp/>

製造販売者 株式会社 トーメーコーポレーション 〒451-0051 名古屋市中西区則武新町二丁目11番33号
TEL (052) 581-5321 FAX (052) 581-5826 URL <http://www.tomey.co.jp>


医業経営をトータルに強化
クリニック経営支援

中期経営
計画策定

収益性
分析

マーケティング
コンサルティング

人材教育
コンサルティング



株式会社メディカ・コンサルティング

〒920-0003 石川県金沢市疋田1丁目3番地
(皇経宮グループ内)
TEL: 076-252-0162
<http://www.medicaconsulting.co.jp>